

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2791300078          |            |            |
| 法人名     | (株) ニチイ学館           |            |            |
| 事業所名    | ニチイケアセンター貝塚 (はなみずき) |            |            |
| 所在地     | 大阪府貝塚市加神1丁目10-3     |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成23年7月29日          | 評価結果市町村受理日 | 平成23年11月7日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2791300078&amp;SCD=320&amp;PCD=27">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2791300078&amp;SCD=320&amp;PCD=27</a> |
|----------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                    |  |  |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター           |  |  |
| 所在地   | 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年9月7日                          |  |  |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日の生活の中で、お客様の笑顔が少しでも多く見られるようにスタッフ一同、努力しています。具体的にはホームでそれぞれの役割を持っていただき、楽しみややりがいを持っていただくようにしています。そしてなるべく外に出て季節を感じていただけるように工夫しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、玄関や共用空間には利用者の作品が綺麗に飾られ、職員手作りのフェルトの小物が並べられ温かな雰囲気を感じられます。明るいうらやましい雰囲気と家庭菜園が眺められる広い庭が、利用者の癒しや開放感となり、職員の温かな声かけの中で毎日ゆったりと過ごされています。毎日の散歩や買い物で地域の方と触れ合い、近隣の保育園と交流の機会を多く持っています。また、隣にある小規模多機能事業所とも連絡を密にとり、共に地域への働きかけを積極的に行っています。市役所との関わりも深く、何でも相談できる協力関係が築かれています。管理者、職員は利用者一人ひとりの細やかなケアを心がけ、看取りを経験したことを踏まえ、今後さらに利用者や家族のサービスに満足して頂ける支援ができるよう考えているホームです。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |  |

## 自己評価および外部評価結果

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|--------------------|-----|---|--|---|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |   |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 毎朝、申し送り時に社是と経営理念を全員で唱和し実践につなげるよう心がけている。  | 開設当初に掲げられたホームの理念「満足の追求」について、職員会議やミーティングで内容を確認し合っています。利用者が何を望んでいるのか、伝えたい事は何かを常に考え、自分達は利用者のよき代弁者となり意向に添ったケアができるよう心がけています。                               |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 近郊にスーパーにほぼ毎日お客様と一緒に食材の買い物に行っています。時々、職員と一緒に外食もしています。地元の高校の福祉科の生徒さんとの交流もあります。            | 近隣への散歩や買い物に毎日出かけ、地域の方と挨拶したり声をかけてもらったりしています。近くの保育園とは交流が多く、近隣の高校ともボランティアの計画が進んでいます。自治会にはまだ入会していませんが、隣にある他事業所管理者と共にアプローチを続け、町会長が運営推進会議に出席して頂けるまで進展しています。 |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 近所のお店を利用したり散歩等に出かけることで支援の方法などを地域住民の方に理解していただいている。                                      |   |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 2ヶ月に1度必ず当ホームにて開催しています。市の担当者や民生委員、家族等の参加のもと、活動状況を報告し、意見や要望をお聞きしたり、ホームでの問題点を話しあったりしています。 | 会議は利用者、家族、町会長、他事業所管理者、地域包括支援センター職員等の参加を得て開催しています。ホームの現状報告や意見を聞いたり、ボランティアの紹介依頼や、消防訓練等の運営のアドバイスをもらっています。会議の開催は家族全員に案内し、会議録は開示して内容を知らせています。              |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 運営推進会議に参加して頂いているほか、ホームの空き情報を定期的にFAXしたり、事故等が起これば速やかに連絡、相談を行っている。                        | 市の高齢介護課職員とは運営推進会議以外にも密にやりとりがあり、管理者は市役所へ出向く機会が多くあります。その都度ホームの状況について報告や相談したり、助言や研修等の情報ももらっています。   |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束について、全体会議等で研修を行っており正しく理解した上でサービスに取り組んでいる。玄関の鍵については、夜間以外は常に開いています。                  | 玄関、ユニット共に日中は全て開錠し、チャイムの対応で十分な見守りを行っています。拘束の弊害を理解するために、ホーム内で研修や話し合いの機会を多く持ち、何が「制止」にあたるのか事例を挙げて振り返り、拘束の排除に努めています。外出傾向の方には職員が一緒に付き添って出かけています。            |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 虐待についての法人の理念が書かれたポスターをホーム内に貼っており研修も行っている。  |   |                   |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 全体会議や勉強会にて、制度を理解する機会を設けている。  |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約書及び重要事項説明書に沿って、相手が納得されるまで、分かりやすく説明するよう心がけている。                                    |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 会社として「顧客満足度調査」を行ったり、管理者を苦情等の窓口として、常に話しやすい環境作りを心がけている。頂いた意見等については、改善に向けての話し合いをしている。 | 家族の来訪時や電話で「何かあればいつでも言ってください」と必ず声をかけ、季刊誌にも載せて、日頃から話しやすい関係作りに努めています。聴き取った要望等は経過記録に残し、会議で改善策を話し合っています。一つ一つの家族の声を大切に、要望には速やかに応え、家族の安心や運営改善に繋がりたいと考えています。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員と常にコミュニケーションを図り毎月の会議等で意見交換を行っている。  | 毎日の業務や利用者の変化の中で、些細なことでも疑問点や意見があれば聞くようにしており、職員は何でも言いやすい環境にあります。個別の職員ヒアリングを年一回行い、管理者は日頃の職員の様子から、気になる事があれば声をかけ、随時個別にも話を聴くよう心がけています。                     |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員にはキャリアアップ制度を設けており、資格手当でもある。  |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の個々の段階により研修制度を設けている。   |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域での研修会に参加したり、ケアマネ会などにも参加しネットワーク作りをしている。   |  |                   |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用に至るまでに必ずアセスメントを行っている。ホームの見学等もしていただいている。                  |   |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ホームの見学をして頂いたり、センター方式の用紙を家族様に渡してご本人の生活状況や家族様の要望などの把握に努めている。 |   |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居判定会を必ず行っている。場合によっては他のサービスや事業所を紹介することも行っている。              |   |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 一緒に買い物や、掃除、洗濯、料理等を行っている。                                   |   |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 職員は家族様とも信頼関係を築く努力をしている。利用者が家族様と過ごす時間を大切に考え支援している。          |   |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご家族様とも相談しながら、入居前に馴染みされていた場所や知り合いの方との交流を支援している。             | 以前の近所の方や教え子が数人遊びに来られゆっくり過ごしてもらっています。スーパーでの買い物時に顔見知りの人と話したり、馴染みの理美容店に訪問してもらったり、医院への通いの援助をしています。また、暑中見舞いの宛先を書いたり、携帯電話の操作を手伝ったりして利用者の今までの関係を継続できるように支援しています。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 共同生活が楽しくなるように、リビングでの座る席の配置を考えたり、共通の話題を考えたりしている。            |   |                   |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退去時に全ての利用者、家族様にいつでも相談に応じることを伝えている。                         |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人及び家族様からなるべく沢山の情報をお聞きしてケアに生かせるように努力している。                 | 入居時に家族に記入してもらった生活歴や嗜好等のアセスメント用紙や日々の生活の会話や言動をもとに思いの把握に努めています。意思表明が難しい方は家族に聴いたり、普段の関わりの中で表情を十分に観察し、その人の意志や希望を汲み取るようにしています。会議等で利用者の状態について職員の意見を持ち寄り、個々の思いに添った暮らしを検討しています。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 在宅の時のケアマネージャーさんなどから本人の了解の上、情報を提供してもらっている。                  |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 職員で情報交換を行い現状の把握に努めている。                                     |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画書の作成前に、必ずカンファレンス、モニタリングを行っており、家族様にも説明をし、納得の上サインを頂いている。 | 三か月ごとにカンファレンスとモニタリングを行っています。担当者会議は利用者や家族も参加してもらい、意見を聞きながら介護計画を立てています。介護計画に添ったケアや記録作成ができるようにファイリングを工夫し、職員全員が計画内容を把握して支援を行い、見直しについて意見できるよう努めています。                        |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 支援経過表、個別の介護記録に記入しているが職員によって書く量や内容にムラがある。                   |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 個別に対応している。   |  |                   |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 民生委員さんや、町会長さんに必要に応じ、協力をお願いしている。                         |  |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 24時間体制の連携のとれたかかりつけ医がおり適切な医療を受けられるように支援している。             | 入居時にかかりつけ医の希望を聞いています。ホームの協力医について説明し、了解が得られれば実際に家族に面談してもらうようにしています。協力医は週一回往診があり、診察結果は管理記録で職員は情報を共有し状態を把握しています。個別の通院については家族対応ですが、付き添える時は同行し情報を得ています。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 24時間体制の訪問看護師と契約しており、日常の健康管理を行っている。                      |  |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時より病院関係者及び主治医、家族様と連絡を取り、退院に向けた支援を行っている。               |  |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 契約時、重度化した場合について書類を交わしており説明をしている。                        | 入居時に重度化の指針を説明しています。今回初めての看取りを経験し、問題なく見送れたことで、方針の共有や家族全員の了解を得ておく大切さを再認識しています。管理者は職員に対応についてやいつでも連絡できることなど安心感を与え、今後も前向きに取り組んで行けるよう配慮しています。            |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時マニュアル・事故発生時マニュアル等で研修を定期的に行っている。                      |  |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 消防署員立会の下年2回の消防訓練を行っている。運営推進会議でも議題に取り上げて、地域との連携に働きかけている。 | 年二回の消防訓練の内、一回は夜間想定で行っています。訓練については運営推進会議で案内や報告を行い議題に挙げて、積極的に協力体制作りを働きかけています。近隣の小規模事業所とは互いの協力関係が構築されています。  |                   |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----------------------------------|------|---|---|--|--|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 尊厳の保持を心がけ、プライバシーが守られるように配慮したケアを行っている。                               | 日頃より、利用者に対しての言葉遣いには充分配慮し、研修や会議で繰り返し話し、新任職員には個別に指導しています。トイレ誘導やオムツ交換時はプライバシーを損ねない対応に気を配り、会話の中で馴染みの関係から気になる対応があった場合は速やかに改善を促しています。                  |  |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 日常の会話の中で、ご本人の希望や意見をお聞きしたり、思いを引き出せるような声掛けを行っている。                     |  |  |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 現状の職員体制の中で、出来る限り利用者のペースを大切にしているが充分とは言えない。                           |  |  |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 季節にあった服装選びをしている。月1回訪問理容を利用している。                                     |  |  |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | なるべく旬の食材を取り入れたメニューを考え、食べやすいように工夫をしている。準備は手伝ってもらう事もあるが、片付けは職員が行っている。 | 利用者に希望を聞きながら1～2週間の献立を決めて、毎日一緒に買い物に出かけています。調理の下ごしらえや取り分け、お盆拭きなど、個々にできることを行ってもらっています。誕生日や行事には仕出し弁当などの出前を取ったり季節にちなんだメニューを工夫し、変化のある食事が楽しめるよう支援しています。 | 会社の制度上、職員も同じ時間に同じ食事は難しいようですが、月1回や誕生日など日を決めて、一緒に食卓を囲む機会を設けられてはいいかでしょうか。 |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 食事量や水分量は介護記録に個別に記載している。食事量が少ない時はエンシュアを飲んで頂いたり好みのものを個別に召し上がって頂いている   |  |  |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 個別に対応している。  |  |  |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 個別に対応している。オムツを使用している方がほとんどでおむつ代の負担が大きい。  | 排泄チェック表を参照しながら、個々のタイミングに合わせてトイレ誘導を行い、車椅子の利用者も座位がとれる方はトイレでの排泄を支援しています。昼間は失敗があっても極力オムツの使用頻度を減らし、布下着で過ごしてもらっています。表情やしぐさをよく観察してタイミングを逃さないよう留意しています。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 食事に乳製品や果物をなるべく多く取り入れている。個別に運動も行っている。   |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 週2回の入浴を基本とし個々にあった支援を行っている。   | 毎日午前から夕方までの時間内で希望の時間に入浴してもらっています。拒否傾向の方にも声かけの工夫をし、スムーズに受け入れてもらえた時には支援経過に記録して次回に繋げています。お湯は一人ずつ入れ換え、季節湯をしたり職員と話をしたりとした入浴時間を楽しんでもらっています。           |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 就寝時間を特に決めず、状況に応じた支援を行っている。個別に昼寝の時間も設けている。  |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 主治医、薬局と連携を取りながら服薬支援を行っている。   |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 毎月の行事やお誕生日会、ボランティアなど様々な行事を企画・実行している。   |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日常的な外出支援は行っている。特別な外出は基本は家族様か専門のヘルパーでの対応をお願いしている。ただしスムーズに外出が出来るよう情報提供や準備等は支援している。 | 近隣へ散歩や食料品の買い物に毎日出かけ、随時に個別で喫茶店に行ったり、外食や買い物の支援をしています。長い歩行が難しい方には庭へ出て気分転換をしてもらっています。貸切バスで家族も一緒に花見に行くなどの行事も組み入れています。                                |                   |

ニチイケアセンター貝塚（はなみずき）

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 個別の対応をしている。   |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望があれば支援している。字が書ける利用者には暑中見舞いのはがきを家族様あてに書いてもらったりしている。              |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用部分は清潔で整理整頓が常に出来ているように心がけている。空調温度もこまめに調整をしている。毎月季節にあった飾り付けをしている。 | 玄関やリビング、廊下に利用者や職員の手作りの装飾品が多く飾られ、全体的に清潔で温かい雰囲気になるよう工夫されています。広い庭で菜園を楽しんだりテラスでゆっくり過ごす機会も設け、季節感や開放感を味わってもらっています。また、リビングの席の配置や装飾を季節のものに模様替えして居心地よく過ごせる空間づくりに配慮しています。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングでの座る位置については常に状況を考えながら変えたりしている。                                |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時、なるべくご本人が馴染みのタンスや、布団などを持ち込んでいただくようにしている。                       | 入居時に家族に依頼し、利用者の馴染みの家具や装飾品、大切にしていたものを持ち込んでもらっています。居室の表札には可愛い手芸品が飾られ、椅子やぬいぐるみ、仏壇などが置かれ、それぞれ個性的な居室となっています。また身体状況や希望に添って寝具を選んでもらい、布団の対応も可能となっています。                  |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 部屋の前に名前を貼ったり、トイレやお風呂もすぐ分かるように表示したりしている。安全に移動が出来るよう常に心がけている。       |   |                   |